

公表日

2026年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 真岡田町教室

保護者等数(児童数) 6名 回収数 6件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			幼児、低学年には十分な広さだと思う。高学年には狭いと思う。目が届くから丁度いい。	スペースが確保できるよう調整している。落下防止対策を再確認した。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1		2	当日の出勤職員が分かるように表示してもらえるとありがたい。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	6					情報伝達などは、絵カード等を使いつかりやすく表示している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					整理整頓されていて、落ち着いて過ごせる空間になっている。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	5	1			充分に理解してくれていると思う。	毎日の話し合いの中で、個々に適した支援をこまめに検討している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6				子どもの個性を考えて作成されている。	前日の様子を話し合い、保護者の要望等を取り入れて作っている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					連絡帳や送迎時、個別支援計画書の見直し等の際に保護者にお話を伺い設定している。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1	計画の沿った支援がされている。	個別課題等、各故人の取り組んだ結果が分かるように記録するよう取り組んでいる。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				季節に応じた製作、活動があって子どもも楽しもう。	前回の活動記録を見返したりし、変化をつけるようにしている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	2	1	あまりないように感じる。 わからない。	外部の子どもと活動出来るような機会を作りていきたい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				説明を受けた。	落ち着いて説明を受けてもらえるような雰囲気を心がけている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				丁寧に説明してくれていた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	2	2	分からぬ。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6				送迎の時に、話してくれている。	連絡帳や送迎時などを利用し、その日の様子を伝えている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5			1	定期的にはないがその都度相談できる。	定期的ではなく、相談があった際はその都度速やかに対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1	アットホームな雰囲気で話しやすい。	保護者が安心してお子様をあずけらるような雰囲気、対応している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	3	1	保護者間の交流はないが、今後あればよいと思う。	このような取り組みはしていないが、要望などがあれば取り入れてみようと思う。
保護者	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					相談、申し入れについて速やかに対応するようにしている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5			1	相談すると親身になってくれる。	連絡帳、送迎時を利用したり場合によっては電話対応している。

有 へ の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			2	レクレーションカレンダー、インスタ等がある。	日頃の活動の様子、行事の様子をSNSにあげている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1		書庫に厳重に保管し、鍵を二重にしている。
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	教室に掲示してある。	各マニュアルの設定はしてある。訓練も定期的に行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1	避難訓練を行っている様子が、連絡帳などからわかる。	訓練の際には紙芝居などで分かりやすく説明しスムーズに行えるようにしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		避難場所等を掲示したり、配布したりしている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	緊急時の連絡について説明があった。	保護者の緊急連絡先の周知の徹底。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	1			嫌がることなく通所している。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				利用日を毎回とても楽しみにしている。嫌がって行っても、帰りは笑顔で帰ってくる。	楽しく通所してもらえるように、壁面、レクレーション、活動などお設定している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				職員の皆さんのが、親身になってくれるので満足している。	個人の特性を全職員で理解し、支援にあたるよう心がけている。

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 真岡田町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・部屋が狭い為少しひても広く使うこと出来るよう物の配置等、その日の人数に応じて変更している。	・人数によっては部屋が狭い感じる日がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・男性職員の配置や子どもの特性を踏まえて職員配置を行っている。	・職員の人数が少ないので支援の幅が狭まっている感じする日もある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・視覚支援を取り入れている。 ・備品の配置等で環境調整を行っている。	・段差が多い。 ・トイレ介助の際に狭さを感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・玩具の手入れや室内外の環境整備はこまめに行っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		・建物のスペースに限りがある為難しい状況である。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・打ち合わせにて実施。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・アンケートや連絡帳等で保護者の意向等を把握し、話し合い対応方法を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて実施。改善に向けた話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・他事業所や本部より意見を頂き改善に努めている。	・行うことが出来ていない為、外部評価を受け、改善に向け努めたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部研修や施設内研修を行うことで資質向上に努めている。	・外部研修の参加が特定の職員へ偏ってしまっている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・作成し公表を行った。 ・レクレーション等固定化しないよう工夫している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・日々の療育の中で課題を見つけ取り入れている。 ・モニタリング等にて課題を整理し目標を立てている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全体で保護者の意向も踏まえ、検討し作成している。	・保護者の行こうと子どもの思いに違いがある際に悩むことがある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個別課題のファイルを作成し目標達成に向け共有出来るようにしている。	・職員の人数が少ない日には出来ない時もある。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・インフォーマルなアセスメントを重要とし支援を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・家族支援としての支援も心掛けながら臨機応変な対応が出来るよう努めている。	・地域支援、移行支援は行うことが出来ていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・毎朝打ち合わせにて実施。 ・打ち合わせ内容を記入し午後から勤務の職員も確認できるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・情報収集を行い取り入れている。 ・季節を感じることの出来るような製作や活動を取り入れている。	・固定化してしまう場面もある。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・保護者様の意向を踏まえながらその日の児童の状態に合わせながら支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・その日には行うことが出来ないが次の日の朝の打ち合わせにて実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・個別課題等話し合いながらステップアップ出来るよう努めている。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	・半年に1回の定期的なモニタリングのみ実施。	・モニタリング月以外でも必要に応じて話し合いの場を設けていく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管が参加。参加前に情報収集を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	・送迎時にその日の様子等を伝えあい情報を得て、その日の様子に応じた対応が出来るようにしている。	・保育園、幼稚園教諭と送迎時にその日の様子を聞くことしか出来ていない為、連携した支援は出来ていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		・行うことが出来ていない。
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	・必要な事項については保護者様を通じて情報を共有している。	・そのような機会を設けることは出来ていない。
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		0	・担当者会議にて話し合いを行っている。 ・会議以外の場でも必要に応じてアドバイスを頂いている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	6		・行うことが出来ていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0	0		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳や送迎時、モニタリング等で伝えあい共通理解のもと支援出来るよう心掛けている。	・保護者へ直接会うことの出来ない利用児もいる。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・行うことが出来ていない。 ・研修の機会はあるが参加することが出来ていない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約の際に説明し伝えている。	・管理者が伝えている為、全職員が伝えることが出来る状況ではない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・担当者会議にて伝えあう機会を設けている。	・相談支援センターによっては全員が集まる機会がない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・同意を得ている。 ・同意のもと日々支援を行うよう心掛けている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者様が相談しやすいような関わりを心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・行うことが出来ていない為、他事業所等からの情報収集に努めたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談や申し入れがあった時点ですぐに話し合いの場を設け、即日中に回答が出来るよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタグラムにて活動の様子を発信している。	・インスタグラムを利用してしない保護者様が見ることの出来るものがない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報は鍵のあるロッカーや保管し鍵はその都度施錠している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵カードや視覚支援カード、マカトン法を活用し意思疎通を図れるよう努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・地域との交流が出来るよう情報収集をする。	・行うことが出来ていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・研修、訓練を行い職員間で理解を深めていくようしている。	・訓練は連絡帳にて記載してあるがマニュアルの周知は個別での保護者への周知は出来ていない。(面談室に掲示)
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・職員間で研修を行い周知したうえで児童への訓練を行い、その後反省も行っている。	・年に2回ほどしか出来ていない。反省を踏まえた訓練の積み重ねが必要を感じる。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・年に1回アセスメントを取り、状況を把握している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・おやつの準備や調理レクの際には成分を確認し提供している。 ・購入の際にも要確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画に基づいて点検、訓練、安全教室を実施している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・連絡帳、インスタグラムにて発信。	・インスタグラムを利用していない保護者様が見ることの出来るものがない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・事例検討や報告を行なながら再発防止に努めている。	・報告のみで記入が出来ていないことがある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・施設内研修のみでなく外部研修へも参加し報告の場を設けている。	・研修への参加者が固定化されつつある。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・十分に理解し手順は把握している。 ・身体拘束は行わない。	